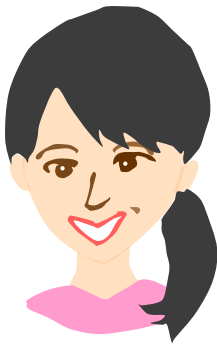


採用7年目（H25. 4月採用）大卒女性



私は、平成25年4月、鹿児島地方検察庁に採用された後、総務課秘書係、徴収担当、支部勤務、検察官の立会事務官、証拠品担当を経て、現在は、総務課庶務係主任として主に職員の出張旅費に関する事務を担当しています。

【検察庁のイメージ】

皆さんは検察庁にどのようなイメージをお持ちでしょうか。

私は入庁前、検察庁は警察が捜査した書類をもとに被疑者の取調べを行うところで、黙々とパソコンに向かって供述調書を作り、法律に従って厳しく事件を処理し、公判を遂行していくという、どちらかと言うと、体を張って捜査に行くというよりは、手続に則って事務的な仕事を淡々と進めていくところだと思っていました。

でも、実際、今、私が「検察庁はどのようなところですか。」と聞かれたら、「検察庁は捜査機関です。」と堂々と答えることができます。

【鹿児島地検の雰囲気】

検察庁の仕事は、どれも国民の人権に大きく関わるものばかりです。

法律に従って処理していくことはもちろんですが、法律は改正されたり、新たにできたりすることがよくあるので、日々細心の注意と勉強が必要です。ベテランの検察事務官でも、法律が改正されればまた一から勉強が必要で、若手からベテランに至るまで、みんなが各種事務の手引や六法を片手に仕事をしています。その士気が高く、みんなが向上心を持って業務に取り組む鹿児島地検の雰囲気が私は大好きです。

【女性だからこそできる仕事】

検察庁は男女問わず活躍できる職場です。

「検察庁は捜査機関で、体力も必要な職場なので、男性向けの職場だ。」と知っている方もいるかもしれませんが、被疑者や被害者が女性のときは、女性の検察事務官が検察官の取調べや事情聴取に立ち会う必要がある場合もあり、女性も求められる職場です。

【国家公務員採用一般職試験受験者へのメッセージ】

私が「検察庁は捜査機関」と堂々と答えることができる理由はもちろん、女性だからこそできる仕事の具体的内容、私がやりがいや達成感を感じた瞬間については、鹿児島地検の業務説明会で詳しくお話しすることができます。皆さん、是非、業務説明会にお越しください。

【令和元年7月掲載】